



Infor LN 電子商取引 EDIビジネス 文書ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

| | |
|-------|------------------|
| 文書コード | comediug (U8998) |
| リリース | 10.5 (10.5) |
| 発行日 | 2017年12月21日 |

目次

文書情報

| | |
|--------------------------------------|----|
| 第1章 概要..... | 7 |
| EDI ビジネス文書の概要..... | 7 |
| 第2章 ビジネス文書「オーダ」..... | 9 |
| EDI ビジネス文書「オーダ」..... | 9 |
| オーダ (ORD)..... | 10 |
| オーダ確認/応答 (ORS)..... | 10 |
| オーダ変更 (ORC)..... | 11 |
| オーダ変更確認/応答 (OCA)..... | 11 |
| 第3章 ビジネス文書スケジュール..... | 13 |
| EDI ビジネス文書スケジュール..... | 13 |
| 購買スケジュール..... | 13 |
| 購買発行..... | 14 |
| EDI メッセージおよび購買スケジュール..... | 14 |
| プル予測スケジュール用 EDI メッセージを作成するには..... | 15 |
| プルコールオフスケジュール用 EDI メッセージを作成するには..... | 15 |
| EDI メッセージを処理するには..... | 16 |
| 第4章 ビジネス文書「納入」..... | 19 |
| EDI ビジネス文書「納入」..... | 19 |
| 事前出荷通知 (ASN)..... | 20 |
| エラーありメッセージの再処理..... | 20 |
| 入庫不一致通知 (RDN)..... | 21 |
| 第5章 ビジネス文書「輸送」..... | 23 |
| EDI ビジネス文書「輸送」..... | 23 |
| 運送業者への積荷情報 (FML)..... | 23 |
| 運送業者状況情報 (FMS)..... | 24 |
| 第6章 ビジネス文書「請求」..... | 25 |
| EDI ビジネス文書「請求」..... | 25 |
| 請求 (INV)..... | 25 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| 第7章 ビジネス文書エラー処理..... | 27 |
| EDI ビジネス文書エラー処理..... | 27 |
| 発注先への「エラー通知 (824/APERAK)」の送信..... | 27 |
| 顧客からの「エラー通知 (824/APERAK)」の受信..... | 27 |
| 受信エラー通知に対する取消しおよび修正済出荷通知の再送信..... | 28 |
| 付録A 用語集..... | 29 |
| 索引 | |

文書情報

この文書では、BEMIS でサポートされる EDI ビジネス文書のタイプと、関連の EDI メッセージについて説明します。

本書の対象

- ビジネス文書/EDI メッセージを作成するユーザ
- LN で作成される EMIS ビジネス文書および関連する EDI メッセージによってどのようなことが可能か理解したいユーザ

本書の概要

第 1 章「概要」では、EDI のコンテキストにおけるビジネス文書の目的および一般的な特徴を説明します。

移行の章では、さまざまなタイプのビジネス文書に関連する EDI メッセージについて説明します。

本書の巻末には、用語集および索引が用意されています。

参照

- BEMIS の目的、内容、および設定を理解するには、BEMIS ユーザガイド U8912 JA を参照
- 各種ビジネス文書タイプの内容および構造の詳細については、[Infor EDI](#) の文書定義を参照

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、その他のセクションへの参照は次の例のように示されています。

詳細については、「概要」を参照してください。参照先セクションに移動するには、目次を参照するか、本書の巻末にある索引を使用してください。

下線の付いた用語には、用語集の定義へのリンクが設定されています。本書をオンラインで表示した場合、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義が表示されます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください
ますようお願いいたします。

EDI ビジネス文書の概要

電子データ交換(EDI)を使用して2つのシステム間でビジネス文書が交換されます。ユーザは、さまざまな外部 EDI 標準 (VDA、UN/EDIFACT、Odette、ANSI など) のビジネス文書を指定できます。Baan Electronic Message Interchange System (BEMIS) 標準で、外部標準は内部 LN 標準に変換されます。内部標準の外部標準への変換およびその逆は EDI トランスレータで行います。

ビジネス文書は取引先間のビジネスプロセスを説明します。

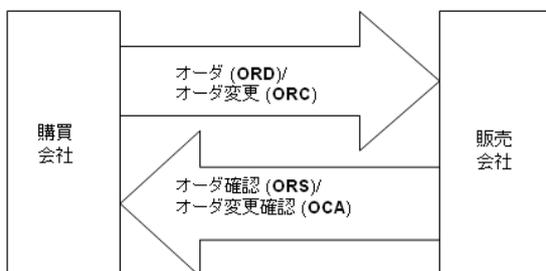
BEMIS は次のビジネス文書をサポートします。

- オーダ (ページ 9)
- スケジュール (ページ 13)
- 納入 (ページ 19)
- 輸送 (ページ 23)
- 請求 (ページ 25)
- エラー処理 (ページ 27)

EDI ビジネス文書「オーダ」

ビジネス文書「オーダ」には取引先間のオーダサイクルを記述し、以下のEDIメッセージを含めません。

- ORD
オーダ
- ORS
オーダ確認/応答
- ORC
オーダ変更
- OCA
オーダ変更確認/応答



次の手順で簡易オーダサイクルを処理実行してください。

1. ORD
購買オーダ (tdpur4100m900) セッションで、電子的に送信可能な購買オーダを作成します。購買オーダを承認し、EDIメッセージを購買オーダの出力 (tdpur4401m000) セッションで作成します。
2. ORS
販売オーダ (tdsls4100m900) セッションでオーダを見直します。オーダを承認し、確認EDIメッセージを販売オーダ確認/RMAの出力 (tdsls4401m000) セッションで生成します。

3. ORC
必要に応じて購買オーダーの変更と再承認を購買オーダー (tdpur4100m900) セッションで行います。再度、EDI メッセージを購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションで作成します。
4. OCA
変更オーダーを販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで見直し、オーダーを再承認し、販売オーダー確認/RMA の出力 (tdsls4401m000) セッションにある確認 EDI メッセージを出力します。

オーダー (ORD)

オーダーサイクルは次のいずれかを行うと開始します。

- 取引先として設定されている販売会社への購買オーダーを購買オーダー (tdpur4100m900) セッションで指定
- EDI メッセージにリンクし、購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) 活動がリンクされている購買タイプを使用。購買オーダーを出力すると、[新規 EDI メッセージが作成されました] というメッセージが表示されます。購買オーダーを作成して出力すると EDI プロセスが開始します。

EDI 用の購買オーダーを調達で作成した後、電子データ交換 (EDI) で送信 EDI オーダーメッセージ (ORD) が生成されます。生成予定メッセージ (ecedi7100m000) セッションはメッセージが購買する会社の発注先、つまり販売会社に送信されるよう作成されているかどうか検証します。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションで EDI メッセージを受信および作成できます。ネットワーク (ecedi0120s000) セッションで [接続前の送信メッセージを生成] チェックボックスをオンにした場合、受信メッセージを読取る前にすべての送信メッセージを生成することができます。セッションを実行し、作成された EDI メッセージの ASCII ファイルを作成します。外部 EDI のために LN で生成された EDI メッセージは appl_from サブディレクトリに保管されます。内部 EDI のために生成および受信されたメッセージはすべて appl_comm サブディレクトリに保管されます。これは各会社が同じネットワークパスを持っているためです。

ネットワーク (ecedi0120s000) セッションで接続前の送信メッセージ生成のオプションを使用しない場合、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションで送信メッセージの ASCII ファイルを作成できます。

変換ソフトウェアは外部取引先から受信したファイルを BEMIS 変換設定で定義したファイルフォーマットに変換します。変換済み ASCII ファイルは適切な appl_to ディレクトリに置かれます。内部 EDI ではファイル変換を必要としません。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して購買オーダーを受信します。顧客のオーダーを受信したとき、販売で販売オーダーが作成されます。顧客オーダーデータ、新規に作成された販売オーダー番号、販売オーダーラインおよびその他関連注釈を示す [コピーメッセージの注釈] レポートが生成されます。

オーダー確認/応答 (ORS)

販売オーダーは、販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで見直すことができます。必要であれば、オーダーを変更することができます。オーダー確認を販売オーダー確認/RMA の出力 (tdsls4401m000) セッションで出力する場合、送信 EDI オーダー確認/応答 (ORS) メッセージが作成されます。

購買会社である顧客に確認を送信するには直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用します。どの EDI メッセージが生成されたかを示すレポートが作成されます。外部 EDI 取引

先メッセージはネットワークで指定されたディレクトリの下にある appl_from サブディレクトリに置かれます。変換ソフトウェアがメッセージを取得します。内部 EDI 取引先メッセージは appl_comm サブディレクトリに保管されます。

オーダー変更 (ORC)

発注先に送信した購買オーダーを変更するには、発注先にオーダー変更 (ORC) メッセージを送信します。購買オーダーを購買オーダー (tdpur4100m900) セッションに保持します。

発注先に通知して以下のことを行います。

- オーダーラインを取り消すには、調達でオーダーラインを取り消して、取り消すラインを示す 変更タイプコードを割り当てます。
- オーダーラインを削除するには、削除するラインを示す変更タイプコードを割り当てます。発注先からオーダー変更確認/応答 (OCA) を受信した後、オーダーラインを削除できます。

変更した購買オーダーラインを出力します。購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションで出力したいラインを選択します。セッションが実行されると、オーダーが EDI 用に作成され、生成予定メッセージ (ecedi7100m000) セッションに保管されているかが検証されます。

ネットワーク (ecedi0120s000) セッションの [接続前の送信メッセージを生成] チェックボックスがオンの場合は、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションでオーダー変更 (ORC) メッセージを生成することができます。[接続前の送信メッセージを生成] チェックボックスがオフの場合、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションで送信メッセージの ASCII ファイルを作成することができます。どちらのセッションもどのメッセージが生成されたかを示すレポートを生成し、参照番号、メッセージおよびオーダー番号を表示します。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して変更済購買オーダー (OCA) を受信します。オーダーに対する顧客の変更をセッションが受信すると、販売オーダーが更新されます。[コピーメッセージの注釈] レポートが生成され、更新されたオーダーとオーダーライン、およびその他関連注釈を示します。

注意

変更タイプと変更理由の情報は次の場合、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) または販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションから自動的に初期設定されます。

- オーダーラインがマニュアルで変更または取消された場合
- オーダーラインが既存オーダーに追加された場合
- オーダーラインの詳細が分割された場合
- バックオーダーラインが生成された場合。調達から変更バックオーダーメッセージが届いたときに販売オーダーラインがすでに完全納品されていた場合、[追加オーダーラインのデフォルト変更タイプ] で新規販売オーダーラインが作成されます。部分納品の結果バックオーダーラインが確認されてしまった場合、[変更オーダーラインのデフォルト変更タイプ] の受信変更メッセージは未処理バックオーダーラインとして販売会社で処理されます。

オーダー変更確認/応答 (OCA)

オーダーへの更新は販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで見直すことができます。変更を確認するには、オーダー確認/応答 (ORS) またはオーダー変更確認/応答 (OCA) メッセージを使用します。どのメッセージを送信する必要があるのかを [EDI オーダー変更の対応] フィールドで定義できます。このフィールドは販売先取引先 (tccom4110s000) セッションにあります。

確認を出力するときは、購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションで出力したいラインを選択します。送信 EDI オーダー確認/応答 (ORS) メッセージ、またはオーダー変更確認/応答 (OCA) メッセージが作成されます。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して確認を顧客/購買会社へ送信します。どのEDIメッセージが生成されたかを示すレポートが作成されます。外部EDI取引先メッセージはネットワークで指定されたディレクトリの下にある appl_from サブディレクトリに置かれます。変換ソフトウェアがメッセージを取得します。内部EDI取引先メッセージは appl_comm サブディレクトリに保管されます。

EDI ビジネス文書スケジュール

ビジネス文書スケジュールには、購買スケジュールを使用して販売会社に所要量を伝えるために、サプライチェーン環境で使用される EDI メッセージの処理を記述します。

購買スケジュールは計画所要量の予定表を表し、頻繁に納品のある長期購買実施をサポートします。資材所要量に対してより詳細に納期の日付/時間を指定する場合に、標準購買オーダーの代わりに購買スケジュールを使用します。購買スケジュールは品目に固有で、購買発行にある購買取引先に送信されます。

購買スケジュール

LN は以下の購買スケジュールのタイプをサポートしています。

- **プッシュスケジュール**
プッシュスケジュールは時系列所要量のリストであり、購買取引先に送信される LN 企業計画または LN プロジェクトなどの中央計画システムによって生成されます。プッシュスケジュールには、長期における予測と短期における実際のオーダーの両方が含まれています。プッシュスケジュールは非参照スケジュールとも呼ばれます。非参照スケジュールとは、参照番号のないラインを含んだスケジュールのことです。スケジュールラインに指定された要求がないので、非参照スケジュールラインはまずクラスタ化され (ラインを 1 つの購買発行として送信するためグループ化)、そして一緒にオーダー、出荷、および受領ができます。
- **プル予測スケジュール**
プル予測スケジュールは時系列計画所要量のリストであり、購買取引先に送信される LN 企業計画によって生成されます。プル予測スケジュールは、処理を予測するためだけに使用されます。実際に品目をオーダーするには、プル予測スケジュールと同じスケジュール番号でプルコールオフスケジュールを生成する必要があります。プッシュスケジュールと同様に、プル予測スケジュールも非参照スケジュールです。
- **プルコールオフスケジュール**
プルコールオフスケジュールは購買品目の時系列特定所要量のリストであり、組立管理、ジョブショップ管理、または LN 倉庫管理 (カンバン、時系列オーダーポイント) からトリガされます。プルコールオフスケジュールは参照スケジュールです。参照スケジュールには参照番号付きのラインが含まれます。商品が出荷、受領および請求されたとき、参照番号で発注先および他の LN パッケージと連絡を取り合います。スケジュールラインに特定の所要量が存在しているので、各単一スケジュールラインは別々にオーダー、出荷、受領されます。

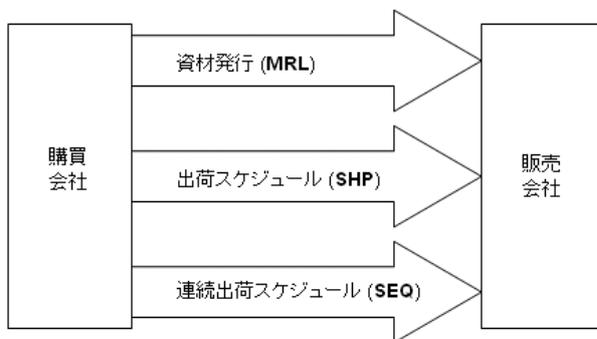
購買発行

購買スケジュールは以下の購買発行により送信できます。

- 資材発行
出荷時間、納入時間、および数量について予測情報が提供されているスケジュール。通常、資材発行は計画発行と見なすことができます。しかしプッシュスケジュールでは資材発行も実際のオーダーを含むことができます。この場合、発行は出荷能力付きの資材発行と呼ばれます。資材発行にはプッシュスケジュールまたはプル予測スケジュールを含むことが可能です。
- 出荷スケジュール
出荷時間、納入時間、および数量について詳細情報が提供されているスケジュール。出荷スケジュールはジャストインタイム (JIT) 管理を容易にします。出荷スケジュールには、プッシュスケジュールまたはプルコールオフスケジュールを含むことが可能です。
- 連続出荷スケジュール
所要量の生産または出荷について明確な情報がある資材発行または出荷スケジュールへの補足。このスケジュールには、生産または出荷順序、オーダー、場所、および出荷後の荷降時間を含むことができます。連続出荷スケジュールにはプルコールオフスケジュールのみ含むことができます。

その結果、ビジネス文書スケジュールには以下の EDI メッセージが含まれます。

- MRL
資材発行
- SHP
出荷スケジュール
- SEQ
連続出荷スケジュール



EDI メッセージおよび購買スケジュール

発行タイプ、所要量タイプ、および対応する EDI メッセージについては、購買スケジュール発行タイプを参照してください。

購買発行のプッシュスケジュール用に EDI メッセージを作成するには

購買発行のプッシュスケジュール用に以下の手順をすべて行い EDI メッセージを作成します。

1. 購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションで購買スケジュールヘッダを作成し、購買スケジュールライン (tdpur3111m000) セッションで購買スケジュールラインを作成します。
2. 発行ラインの生成 (tdpur3222m000) セッションで購買発行ラインを作成します。
3. 発行ラインの承認 (tdpur3222m100) セッションの購買発行ラインを承認します。
4. [最終レポート] および [EDI メッセージを準備] チェックボックスがオンになっている購買発行の出力 (tdpur3422m000) セッションで購買発行を出力します。

注意

- 購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションまたは品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [EDI メッセージを直接発行] チェックボックスがオンの場合、購買発行 (tdpur3120m000) セッションで購買発行が [スケジュール済] 状況を受領すると、LN が自動的に EDI メッセージを作成します。
- 直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して送信メッセージを生成します。生成されたメッセージがレポートにリストされます。外部 EDI 取引先用の送信メッセージは、変換ソフトで取得できるように appl_from ディレクトリに保管されます。

プル予測スケジュール用 EDI メッセージを作成するには

プル予測スケジュールは、企業計画のオーダー計画の生成 (cprrp1210m000) セッションでのみ生成でき、マニュアルでは作成できません。パラメータおよびトリガに基づいて以下の手順を自動的に行い、プル予測スケジュール用 EDI メッセージを購買発行に作成します。

1. 購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションに購買スケジュールヘッダを生成し、購買スケジュールライン (tdpur3111m000) セッションに購買スケジュールラインを生成します。
2. 発行ラインの生成 (tdpur3222m000) セッションに購買発行を生成します。
3. 発行ラインの承認 (tdpur3222m100) セッションで購買発行を承認します。
4. 購買発行の出力 (tdpur3422m000) セッションで購買発行を出力します。

プルコールオフスケジュール用 EDI メッセージを作成するには

プルコールオフスケジュールは、組立管理から組立部品供給メッセージの転送 (tiasc8220m000) セッションを用いて生成または、倉庫管理からオーダーの生成 (カンバン) (whinh2200m000) およびオーダーの生成 (時系列オーダーポイント) (whinh2201m000) セッションを用いてのみ生成されます。プルコールオフスケジュールはマニュアルで作成できません。パラメータおよびトリガに基づいて以下の手順を自動的に行い、プルコールオフスケジュール用 EDI メッセージを購買発行に作成します。

1. 購買スケジュール (ヘッダ) は購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションで生成されます。プルコールオフスケジュールの前にプル予測スケジュールがある場合、LN では、購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションの対応するプル予測スケジュールが検索されます。見つかり、LN はそのプル予測スケジュールと同じスケジュール番号を持つプルコールオフスケジュールを作成します。このようにして、予測データおよびオーダー

データが分離されます。予測データが生成されない場合、購買スケジュール (tdpur3110m000) セッションで生成されたプルコールオフスケジュールに対応するプル予測スケジュールは生成されません。

2. スケジュールラインは購買スケジュールライン (tdpur3111m000) セッションで生成されます。プルコールオフスケジュールにリンク付けられている発行タイプが [連続出荷スケジュール] の場合、各コールオフ用のスケジュールラインは購買スケジュールライン (tdpur3111m000) セッションに生成されますが、VIN 番号、ラインステーション等の特定のコールオフの手順詳細は連続出荷データ (tdpur3517m000) セッションに保管されません。
3. 購買発行は、[スケジュール済] 状況で購買発行 (tdpur3120m000) セッションに生成されます。スケジュールラインの生成ごとに、LN は購買発行ライン詳細 (tdpur3522m000) セッションで発行ライン詳細レコードを生成します。このレコードはスケジュールラインと 1 対 1 の関係になっています。
しかし、スケジュールが連続出荷スケジュールの場合は以下が適用されます。
 - 購買発行ヘッダのみ作成。購買発行ラインおよび購買発行ライン詳細レコードは作成されません。この理由は、連続出荷スケジュールにある品目には車両番号 (VIN)、ラインステーションおよび組立キットの組合せが必要だからです。この理由のため、購買発行 (tdpur3120m000) セッションにある発行ヘッダと購買発行ライン-連続出荷データ (tdpur3523m000) セッションにある発行ラインとの間にリンクが存在しています。
 - 購買発行 (tdpur3120m000) セッションの [車両ごとの発行の生成] チェックボックスの設定に応じて、発行が品目ごとまたは車両ごとに作成されます。
4. 購買発行の出力 (tdpur3422m000) セッションで購買発行を出力します。

EDI メッセージを処理するには

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して顧客の新規発行を受信または既存発行を更新することができます。

新規「資材発行」(MRL)、「出荷スケジュール」(SHP)、または「連続出荷スケジュール」(SEQ) を受信するとき、販売発行および対応するスケジュールが「販売オーダ管理」モジュールで作成されます。発行タイプに応じて、既存販売発行への更新により販売発行と対応するスケジュールが新バージョンになる場合や、更新された販売発行/販売スケジュールになる場合もあります。

その結果、EDI メッセージが処理されると以下の情報が自動的に LN へ入力されます。

- 販売発行概要 (tdsls3512m000) セッションにある改訂番号が 1 の販売発行。既存販売発行に対して新規 EDI メッセージを受信すると、改訂番号 2 になり販売発行改訂が作成されていきます。
- 販売発行ライン (tdsls3508m000) セッションにある販売発行ライン
- タイプが [出荷スケジュール] の参照スケジュールに対する、販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000) セッションでの販売発行位置詳細。参照出荷スケジュールの更新を受信した場合、LN は新規販売スケジュール改訂番号を作成しません。その代わりに、販売スケジュールが更新されます。販売スケジュールラインへの更新を受信した場合、販売スケジュールラインも更新されます。更新を記録するため、LN は改訂として販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000) セッションにある販売スケジュールライン更新を保管します。その結果、販売発行位置詳細は販売スケジュールラインを参照します。
- 販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで改訂番号が 1 の販売スケジュール。既存販売スケジュールに対して新規所要量を受信すると、改訂番号 2 になり販売スケジュール改訂が作成されていきます。新規販売スケジュール改訂が承認されると、前回の販売スケジュール改訂とその所要量は無効になります。

- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションにある販売スケジュールライン
- スケジュールが参照され、タイプが [連続出荷スケジュール] の場合、出荷順序 (whinh4520m000) セッションの連続出荷情報、および連続出荷情報 (tdsls3517m000) セッションの出荷順序詳細改訂

すべての受信EDIメッセージと同様に、コピーメッセージの注釈レポートが生成されます。レポートは関連注釈とともに販売発行番号と該当ラインを表示します。

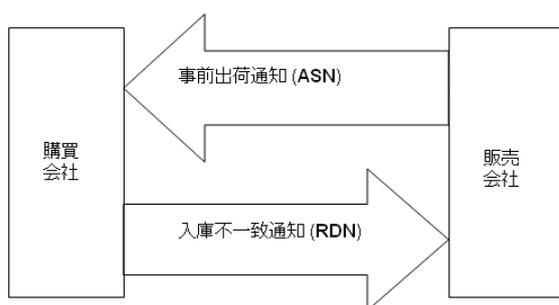
第4章 ビジネス文書「納入」

4

EDI ビジネス文書「納入」

ビジネス文書「納入」は、出荷およびオーダーした商品の入庫を記述し、以下の EDI メッセージを含みます。

- ASN
事前出荷通知
- RDN
入庫不一致通知



オーダーした商品の出荷および入庫を行うには

1. 販売オーダーの倉庫管理への発行 (tdsls4246m000) セッションで販売オーダーが倉庫管理に出荷された後、出庫勧告の生成 (whinh4201m000) および出庫勧告の発行 (whinh4202m000) セッションを使用して、購買会社への出荷のオーダーを作成します。出庫通知には出荷で倉庫の保管場所から積込ドックへ商品を移動させるための情報が含まれます。
2. 出荷および積荷の凍結/確認 (whinh4275m000) セッション、または事前出荷通知の確認 (whinh4230m100) セッションを使用して、事前出荷通知 (ASN) メッセージを作成する出荷を確認します。
3. 出荷通知 (whinh3100m000) セッションを使用して、販売会社が送信した事前出荷通知を受信します。
4. 入庫 (whinh3512m000) セッションを使用して、販売会社から受領した商品の数量を記録します。

5. 入庫 (whinh3512m000) セッションで入庫を確認します。入庫または入庫ラインを確認後、入庫数量が出荷通知ラインの数量と異なる場合、入庫不一致通知 (RDN) メッセージが販売会社へ送信されます。事前出荷通知を使用している場合のみ、不一致通知が送信されます。

事前出荷通知 (ASN)

配信プロセスは次のいずれかを行うと開始します。

- 出庫勧告の生成 (whinh4201m000) と出庫勧告の発行 (whinh4202m000) セッションを使用して、購買会社への出荷の倉庫オーダを作成
- 出荷および積荷の凍結/確認 (whinh4275m000) セッション、または事前出荷通知の確認 (whinh4230m100) セッションを使用して、事前出荷通知 (ASN) EDI メッセージを作成する出荷を確認

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [事前出荷通知の自動作成] チェックボックスがオンの場合、出荷および積荷の凍結/確認 (whinh4275m000) セッションで事前出荷通知 (ASN) 送信メッセージが作成されます。[事前出荷通知の自動作成] チェックボックスがオフの場合、事前出荷通知の確認 (whinh4230m100) セッションを使用して送信する事前出荷通知 (ASN) メッセージを作成する必要があります。

事前出荷通知 (ASN) メッセージは直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して送信できます。生成された EDI メッセージはレポートに表示されます。外部 EDI 取引先メッセージはネットワークで指定されたディレクトリの下にある appl_from サブディレクトリに置かれず、変換ソフトウェアがメッセージを取得します。内部 EDI 取引先メッセージは appl_comm サブディレクトリに保管されます。

事前出荷通知 (ASN) は確認されていない入庫です。ASN が出荷内容を正しく反映している場合、確認を行うことができ、その後 ASN は入庫になります。ASN を電子的に受信した場合、入庫プロセスは早まります。データ入力時間が少なくなり、エラーの可能性が減るためです。入庫 (whinh3512m000) セッションでは、選択された出荷通知が自動的に出荷通知からのデータで入庫データを追加します。

エラーありメッセージの再処理

受信メッセージの処理では有効性確認エラーが発生する場合があります。このエラーは、LN アプリケーションでのメッセージの更新を妨げます。メッセージ全体が、「受信予定保存メッセージ」テーブルに保存され、受信予定保存メッセージ (ecedi7150m000) セッションを使用してメッセージを表示および修正できます。

プロセスの発生ごとにネットワーク別の固有のバッチ番号が割り当てられます。受信予定保存メッセージ (ecedi7150m000) セッションは、処理済の受信メッセージを記録します。このセッションは、受信 EDI メッセージが以前に処理された際 (成功したかどうかに関わらず) に作成された受信バッチ参照を表示するために使用します。

受信予定保存メッセージ (ecedi7150m000) セッションは、データを表示および修正するために使用します。メッセージを対話式でレビューすることを選択した場合、または、メッセージデータの有効性確認時にエラーが発生した場合は、EDI メッセージは処理されません。未処理のメッセージは、受信予定保存メッセージとして参照することができます。レコードを選択すると、受領予定保存メッセージデータ (ecedi7151s000) セッションに、保存されたメッセージデータの詳細が表示されます。

メッセージデータを修正した後、メッセージが承認されれば再処理が可能になります。受信予定保存メッセージの承認 (ecedi7250m000) セッションおよび受信予定保存メッセージの処理 (ecedi7252m000) セッションは、メッセージの再処理に必要な操作を行うために使用します。

保存されたメッセージが受信予定保存メッセージの処理 (ecedi7252m000)セッションで問題なく処理され、LN アプリケーション内で更新されると、その保存されたメッセージは自動的に受信予定保存メッセージから削除されます。

メッセージを処理しないように決定した場合には、受信予定保存メッセージの出力 (ecedi7450m000) または受信予定保存メッセージの削除 (ecedi7251m000) セッションでメッセージを削除できます。これらのセッションにはいずれも、受信予定保存メッセージ (ecedi7150m000) セッションの適切なメニューからアクセスできます。

入庫不一致通知 (RDN)

入庫 (whinh3512m000) セッションで、事前出荷通知を使用して入庫データを入力できます。出荷通知の数量と実際に入庫し記録された数量とに不一致がある場合、その不一致は記録されます。入庫が確認された後、入庫不一致通知メッセージ (RDN) が EDI 用に作成されます。

送信する入庫不一致メッセージのデフォルト変換設定定義には、入庫不一致コードを含みます。コードは次のように不一致タイプを定義します。

- 出荷通知に示される数量よりも入庫数量が多い (数量超過)
- 出荷通知に示される数量よりも入庫数量が少ない (数量不足)
- 商品の入庫前に出荷通知がない (ASN なし)

商品到着前に出荷通知を受け取っていないことを示すには、出荷通知 (whinh3100m000) セッションを使用して出荷通知をゼロ数量とマニュアルで指定します。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションでは、送信する入庫不一致通知 (RDN) メッセージを作成します。レポートは作成されたメッセージをリストし、また外部 EDI 用として、送信メッセージ (ASCII) ファイルが変換ソフトウェアのために appl_from ディレクトリに保管されます。

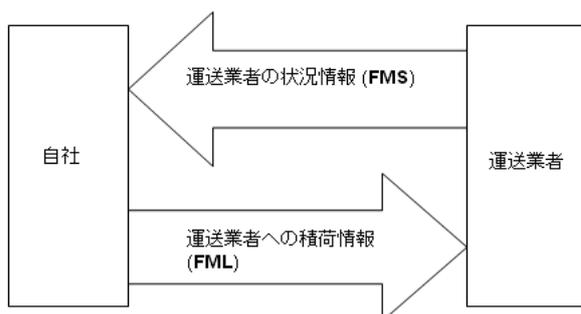
直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して入庫不一致通知 (RDN) メッセージを受信します。変換ソフトウェアにより ASCII ファイルが appl to ディレクトリに置かれた後、このセッションは RDN メッセージをこのディレクトリから取得します。メッセージは事前出荷通知 (ASN) に示す数量と実際に入庫した数量との間に不一致が見つかったことを知らせます。

出荷ヘッダの [電子データ交換情報] フィールドおよび出荷ラインのテキストフィールドが不一致メッセージの情報に更新されます。

EDI ビジネス文書「輸送」

ビジネス文書「輸送」は、出荷および積荷と出荷の追跡を記述します。これは以下の EDI メッセージを含みます。

- FML
 運送業者への積荷情報
- FMS
 運送業者状況情報



運送業者への積荷情報 (FML)

運送業者への積荷情報 (FML) メッセージは、今度の外注指示を取引先に知らせます。メッセージは、次のいずれかのセッションを使用して外注指示を出力したときに作成されます。

- 輸送オーダクラスタの実際化 (fmfoc3210m000)
 このセッションで、[外注指示の出力] チェックボックスをオンにし、次に [最終出力] を選択
- 外注指示の出力 (fmfoc3410m000)
 このセッションで、[最終出力] を選択

注意

作成された EDI メッセージを生成するには、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションを使用します。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して送信メッセージを生成します。生成されたメッセージがレポートに一覧表示されます。外部 EDI 取引先用の送信メッセージは、変換ソフトによる取得のため appl_from ディレクトリに保管されます。

運送業者状況情報 (FMS)

運送業者状況 (FMS) メッセージは、輸送オーダクラスタ、輸送オーダクラスタライン、積荷、および出荷の追跡を容易にするために取引先によって送信されます。運送業者状況情報は以下のセッションの [状況] フィールドに表示されます。

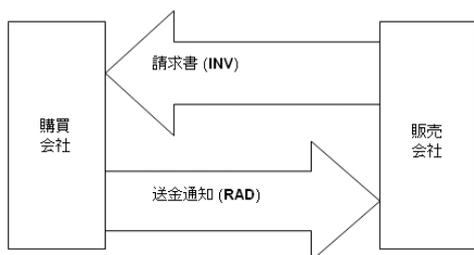
- 積荷/出荷追跡 (fmlbd4150m000)
- 積荷 (fmlbd4100m100)、[追跡] タブ
- 出荷 (fmlbd3100m100)、[追跡] タブ

運送業者状況およびその他追跡情報を別のセッションからアクセスするには、

1. 次のいずれかのセッションの適切なメニューで [追跡] をクリックします。
 - 輸送オーダクラスタ (fmfoc3100m000)
 - 輸送オーダクラスタライン (fmfoc3101m000)
 - 積荷 (fmlbd4100m000)
 - 出荷 (fmlbd3100m000)
 - 出荷ライン (fmlbd3150m000)積荷/出荷追跡 (fmlbd4150m000) セッションが表示されます。
2. 必要に応じて [状況でフィルタ] メニューで [並び順...] をポイントし、適切なオプションをクリックします。
 - [輸送オーダクラスタ]
 - [輸送オーダクラスタライン]
 - [積荷]
 - [出荷]
3. 見たい追跡詳細ラインをダブルクリックします。

EDI ビジネス文書「請求」

ビジネス文書「請求」は、商品の請求および支払について記述し、EDI メッセージ請求 (INV) を含みます。



請求 (INV) メッセージは、請求の請求手順で作成されます。請求書は、請求から取引先に電子的に送信されます。請求 (INV) メッセージは、財務会計の買掛金で受信できます。

請求手順には複数の手順が含まれます。このビジネス文書ではすべての手順の説明はしません。請求 (INV) メッセージの生成および処理に関連する手順のみ説明します。

請求 (INV)

請求 (INV) メッセージを生成するには

1. 請求に請求日を発行した後、請求バッチを請求バッチ (cisli2100m000) セッションで作成します。
2. 請求書の構成/出力/転記 (cisli2200m000) セッションを使用して関連データの請求書を作成し、請求書の原本を出力するなどの請求バッチを処理します。請求書の出力 (cisli2400m000) セッションを使用して請求書を出力することもできます。請求書の原本を出力することで、EDI 送信用の請求 (INV) が作成されます。

請求 (INV)

顧客、つまり購買会社に商品を出荷し、そのオーダを請求に移動して請求バッチを作成した後、請求書の構成/出力/転記 (cisli2200m000) セッション、または請求書の出力 (cisli2400m000) セッションを使用して EDI 送信用の請求 (INV) を作成します。

ネットワーク (ecedi0120s000) セッションの [接続前の送信メッセージを生成] チェックボックスがオンの場合、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して送信メッセージの生成し、生成メッセージを表示するレポートを提供してください。ネットワーク (ecedi0120s000) セッションで接続前の送信メッセージ生成のオプションを使用しない場合、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションで送信メッセージの ASCII ファイルを作成できます。

外部 EDI メッセージはネットワークで指定されている appl_from サブディレクトリに置かれ、変換ソフトウェアがそのメッセージを取得します。内部 EDI メッセージは変換する必要がなく、送信メッセージ用の appl_comm サブディレクトリに保管されます。

発注先、つまり販売会社から請求 (INV) メッセージを受信するには、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用します。購買請求書が作成され、2つのレポートが生成されます。[コピーメッセージの注釈] レポートは、関連する注釈とともに生成された請求書番号を示します。[受信 EDI 購買請求] レポートは、ラインレベルで請求数量と請求額、および該当するものがある場合に税金コード ID による課税額をリストします。

請求 (INV) メッセージを受信する前に商品を受領した場合、自動請求照合が行われます。オーダーを受領する前に請求メッセージが届いた場合、購買請求書は照合されず、商品を受領したときにマニュアルで照合することができます。

請求書照合は、受信購買請求メッセージに応じて請求書ヘッダまたは請求書ラインで行うことが可能です。

- 請求書ヘッダで請求書照合
ヘッダで請求書照合を行うには、買掛金パラメータ (tfacp0100m000) セッションの [自動照合] チェックボックスがオンになっている必要があります。受信メッセージで請求書ヘッダに有効顧客購買オーダー番号があり、請求書ライン情報がない場合、受領した商品のすべてのオーダーラインでオーダー全体が照合されます。許容範囲を超えた場合、購買請求書全体が照合されないままになります。
- 請求書ラインで請求書照合
受信したメッセージでオーダーライン情報がある場合、受領した商品の顧客オーダーラインと各請求書ラインが照合されます。受領していない商品の請求書ラインは照合されないままになります。

請求書データは購買請求書の照合/承認 (tfacp2107m000) セッションで見ることができます。

EDI ビジネス文書エラー処理

このビジネス文書「エラー処理」は、エラー通知メッセージの送信、受信、および処理について記述されています。

発注先への「エラー通知 (824/APERAK)」の送信

取引先によるサポートの EDI メッセージ (ecedi0511m000) セッションには、[自動作成エラー通知] チェックボックスがあります。取引当事者の両方でこのチェックボックスをオンにしているとき、受信の「出荷通知 (856)」メッセージにエラーがある場合には、送信の「エラー通知 (824)」メッセージが作成されます。

エラー通知メッセージをマニュアルで作成するには、[エラー通知を作成] チェックボックスをオンにして、受信メッセージエラーの出力 (ecedi7451m000) セッションを実行する必要があります。エラー通知は、あらゆる誤ったメッセージに対して作成可能ですが、サプライチェーン環境で、エラーのある出荷通知に対してエラー通知を使用することは特殊な使用方法です。

直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用して送信メッセージを生成します。生成されたメッセージをリストしたレポートが作成されます。

顧客からの「エラー通知 (824/APERAK)」の受信

顧客 (出荷先取引先) から「エラー通知 (824/APERAK)」を受信し、変換/通信ソフトウェアによってメッセージ (ASCII) ファイルが対応する appl_to ディレクトリに配置されたら、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを使用してエラー通知メッセージを受信します。

受信エラー通知は、無効な出荷通知の送信元である出荷に関連付けられ、取引先が前に送信した出荷通知を処理しようとしたときにアプリケーションエラーを通知します。

エラー通知受信すると、次の処理が実行されます。

- エラー通知を受信した出荷の状況は、[非承認] に設定されます。
- [コピーメッセージの注釈] レポートが生成され、エラー通知メッセージを受信した出荷通知番号と関連する注釈が表示されます。
- オプションで、出荷ヘッダの [EDI情報] フィールドをエラー通知メッセージの内容で更新できます。
- 受信エラー通知メッセージで参照されている出荷通知は、EDI送信 (856/DESADV送信) に対して自動的に作成されます。

作成された送信メッセージはすべて生成予定メッセージ (ecedi7100m000) セッションを使用して送信メッセージが EDI 用に作成されているかどうかを検証できます。次に直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを実行するときにメッセージを生成しない場合には、このセッションからメッセージを削除できます。

受信エラー通知に対する取消しおよび修正済出荷通知の再送信

取消出荷通知を顧客へ送信する場合に、ネットワークが直接ネットワーク通信でメッセージを生成するように設定されているときには、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを実行します。それ以外のときには、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションを実行して、送信メッセージをマニュアルで生成します。送信取消出荷通知の生成時、出荷の EDI 状況が [修正] になります。これは、誤ったデータを訂正して取引先に再送信するように出荷を修正する必要がありますを示しています。

注意

次の出荷通知をサポートしています。

- 取消出荷通知
取消出荷通知は、以前に送信された誤りのある出荷通知を取り消すことを目的にしています。出荷状況コードの変換 (送信) (ecedi4180m000) セッションで、メッセージに含まれているオリジナルまたは取消済のメッセージコードを指定できます。
- オリジナル出荷通知
出荷の EDI 状況が [確認済] の場合は、出荷通知がオリジナルのメッセージであると見なされます。出荷の EDI 状況が [非承認] の場合は、出荷通知が取消メッセージであると見なされます。

出荷の EDI 状況が [修正] の場合、オリジナル出荷通知に記載されている出荷の日時、数量、重量などの EDI データを訂正することにより、通知されたエラーを修正した後、修正済出荷通知を取引先に再送信することができます。修正済出荷通知を再送信するには、事前出荷通知の確認 (whinh4230m100) セッションを使用して、送信用の修正済出荷通知 (856/DESADV) を作成します。送信出荷通知を作成すると、出荷の EDI 状況が [確認済] になります。ネットワークが直接ネットワーク通信でメッセージを生成するように設定されている場合は、直接ネットワーク通信 (ecedi7205m000) セッションを実行します。それ以外のときには、EDI メッセージの生成 (ecedi7201m000) セッションを実行して、送信メッセージをマニュアルで生成します。

外部 EDI の場合、送信メッセージ (ASCII) ファイルはネットワークディレクトリ内の appl_from ディレクトリに配置され、変換/通信ソフトウェアがこのフォルダからファイルを取得します。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

請求バッチ

請求処理を行うオーダタイプとオーダを指定します。請求バッチを実行すると、請求データが選択され、その請求バッチで指定したオーダタイプとオーダに関する請求書が生成されます。

販売スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。販売スケジュールは、頻繁に納入される長期の販売をサポートします。品目、販売先取引先、出荷先取引先、および納入パラメータが同じである要求はすべて、同じ販売スケジュールに保存されます。

購買スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。購買スケジュールは、頻繁に納入される長期の購買をサポートし、通常、購買契約によって支援されます。品目、購買元取引先、出荷元取引先、購買オフィス、および倉庫が同じである要求はすべて、1 つのスケジュールに保存されます。

時系列オーダポイント

次を参照してください: 時系列オーダポイント (TPOP) (ページ 33)

販売発行

次の特徴を共有する販売スケジュールを、1つの発行番号で識別します。

- 販売先取引先
- 出荷先取引先
- 出荷先住所
- 発行タイプ (資材発行/出荷スケジュール/連続出荷スケジュール/ピックアップシート)
- 出荷基準スケジュール/入庫基準スケジュール
- スケジュール数量タイプ
- 予測範囲開始および終了
- 販売発行発生元
- 顧客発行
- (顧客オーダー)
- 顧客契約参照

所要量タイプ

期限内の所要量を表す所要量タイプは3つあり、スケジュールに使用されます。

利用可能な所要量タイプは次のとおりです。

- [即時]
- [確定]
- [計画済]

非参照スケジュールの場合、所要量タイプはセグメントにリンクされます。

プル予測スケジュールの場合、所要量タイプは常に [計画済] または [即時] です。プルコールオフスケジュールの場合、所要量タイプは常に [確定] です。

変更理由

販売オーダーまたは購買オーダーへの変更理由を示す手段。たとえば、契約制限、実現の可能性の問題、または輸送制限など。変更理由は、コードによって識別します。

事前出荷通知

出荷が送付済であることを知らせる通知。事前出荷通知は、電子データ交換を利用して送受信されます。倉庫に商品が到着することを知らせる事前出荷通知を発注先から受け取ることがあったり、発注した商品がまもなく納入されることを知らせる事前出荷通知を顧客に送信したりすることができます。

同義語: 出荷通知

略字: 事前出荷通知

事前出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 30)

出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 30)

変更タイプ

価格変更または数量の増加など、オーダーに加えられた変更のタイプを識別するために使用できるユーザ定義コード

EDIFACT

この頭字語は、管理、商取引および輸送用電子データ交換 (EDI) を表します。電子データ交換 (EDI) の国際的な標準化団体です。

標準 EDIFACT メッセージの独自のサブセットを使用する同様の標準化団体 (Odette など) が他にいくつかあります。

メッセージを定義するときは、慣れ親しんでいる標準命名規約と一致する命名規約を使用できません。

EDI 標準

2つの取引先間で電子的に転送されるデータ (メッセージ) の処理、手順、フォーマットを定義する国内レベルおよび国際レベルで定義されたプロトコル

ANSI

この頭字語は、米国規格協会を表します。ANSI は、米国規格と呼ばれる一貫した自主基準を策定する主要団体です。また、ANSI は非協議標準化団体の米国代表でもあります。

電子データ交換 (EDI)

標準フォーマットの標準ビジネス文書のコンピュータ間転送。内部 EDI は、同じ内部会社ネットワーク (マルチサイトまたは複数会社とも呼ばれる) 上での会社間のデータ転送を意味します。外部 EDI は、自社と外部取引先間のデータ転送を意味します。

VDA

「Verband der Automobilindustrie (自動車工業会)」の頭文字: ドイツにおける自動車業界取引の電子交換標準。この標準では、固定長のフィールド/レコードフォーマットを使用します。

外注指示

外注指示は、運送業者に対する外注オーダーになります。外注指示には、運送業者が輸送を行う商品がリストされます。

非参照スケジュール

参照番号のないラインを含むスケジュール。スケジュールラインについて特定の所要量が存在しないので、非参照スケジュールラインは、最初にクラスタ化して、一緒にオーダー、出荷、および入庫できます。

参照スケジュール

参照番号を持つラインを含むスケジュール。商品が出荷、入庫、および請求される場合、参照番号は、発注先や他の LN パッケージとの通信に使用されます。

発行タイプ

発行のタイプを特定するために使用される分類であり、この分類に基づいてスケジュール所要量がグループ化され、EDIメッセージを生成できます。これらのメッセージは、使用するスケジュールによって示されます。

連続出荷スケジュール

所要の製造や納入についての正確な情報を含む出荷スケジュール。このスケジュールには、製造順序や納入順序のほか、オーダ、場所、出荷後の荷降の時間なども含めることができます。

購買発行

購買発行は、次の特徴が共通するスケジュールを、1つの発行番号で送り出すために使用します。

- 購買元取引先
- 出荷元取引先
- 出荷先住所
- 発行タイプ (資材発行/出荷スケジュール/連続出荷スケジュール)
- 出荷基準スケジュール/入庫基準スケジュール
- 通信方法
- 倉庫

コールオフ

購買スケジュールに基づいて取引先から商品を集めること。コールオフには、スケジュールされた品目を納入する必要があることを取引先に通知するメッセージ(EDI)の送付が含まれます。このメッセージには、納入すべき品目数量および納入日時が含まれます。

販売スケジュール改訂番号

販売スケジュールの改訂を一意に識別する番号。販売スケジュール改訂番号は、取引先に送付される販売スケジュールの更新を示します。

カンバン

工程倉庫への品目の供給を調整するジャストインタイム生産のデマンドプルシステム

カンバンは、標準のコンテナまたはロットサイズ (棚とも呼ばれる) を使用して工程倉庫に品目を渡します。工程倉庫では、同じ品目に複数の棚を使用できます。品目は、1つの棚だけから取得します。棚が空の場合は、新しい棚をオーダして (2番目の) 満杯の棚から品目を取得します。各棚には、ラベルが添付されます。ラインステーションは、ラベルを使用して必要な品目がある満杯の棚をオーダします。結果として、工程倉庫では使用するフロア在庫品目の在庫管理は実行しません。

時系列オーダーポイント (TPOP)

倉庫への時系列による品目の供給を調整するプッシュシステム

倉庫に供給される品目の数量は、次によって決まります。

- 倉庫の有効在庫
- 特定のオーダー範囲内に倉庫への納入が予定されている在庫
- 品目と倉庫に指定された在庫バッファ (必要に応じ現行期間の季節要因に合わせて調整される)

有効在庫に計画在庫を加えたものが発注点を下回る場合、倉庫の在庫が補充されます。

略字: 時系列オーダーポイント

次を参照してください: 在庫バッファ

索引

概要

- EDI ビジネス文書, 7
- 適切なメニュー, 29
- 請求バッチ, 29
- 請求書
 - EDI ビジネス文書, 25
- 販売スケジュール, 29
- オーダー
 - EDI ビジネス文書, 9
- 輸送
 - EDI ビジネス文書, 23
- 購買スケジュール, 29
- スケジュール
 - EDI ビジネス文書, 13
- 時系列オーダーポイント, 33
- 納入
 - EDI ビジネス文書, 19
- 販売発行, 30
- 所要量タイプ, 30
- 変更理由, 30
- 事前出荷通知, 30
- 出荷通知, 30
- 変更タイプ, 31
- EDI メッセージ
 - ASN, 20, 27
 - FML, 23
 - FMS, 24
 - INV, 25
 - MRL, 14
 - ORA, 11
 - ORC, 11
 - ORD, 10
 - ORS, 10
 - RDN, 21
 - SEQ, 14
 - SHP, 14
 - エラー通知の受信, 27
 - エラー通知の送信, 27
 - プロセス, 16
 - 再処理, 20
 - 出荷通知の再送信, 28
- EDIFACT, 31

- EDI 標準, 31
- ANSI, 31
- 電子データ交換 (EDI), 31
- VDA, 31
- EDI ビジネス文書
 - エラー処理, 27
 - オーダー, 9
 - スケジュール, 13
 - 概要, 7
 - 請求書, 25
 - 納入, 19
 - 輸送, 23
- エラー処理
 - EDI ビジネス文書, 27
- 外注指示, 31
- 非参照スケジュール, 31
- 参照スケジュール, 31
- 発行タイプ, 32
- 連続出荷スケジュール, 32
- 購買発行, 32
- コールオフ, 32
- 販売スケジュール改訂番号, 32
- カンバン, 32
- 時系列オーダーポイント (TPOP), 33
